

様式1

平成30年度 学校評価表

| | |
|--------|---|
| 学校教育目標 | 美しい木々が健やかに育つ学校 「自律・挑戦・創造・人間性・協栄」 ～知・徳・体を磨き続け、郷土に誇りを持ち、グローバル社会を生き抜く生徒の育成～ |
|--------|---|

| | | | |
|---------|----------------------------------|--------|---|
| a ミッション | 教科指導と生徒指導の充実を通した、組織的・計画的な小中連携の深化 | a ビジョン | 授業改善と積極的な生徒指導、組織的な学校運営を行い、主体性と創意工夫により、質の高い教育を提供できる学校 地域連携により人的・物的資源を生かした活動を行うことにより、地域に開かれ、保護者・地域と相互に高め合う安心・安全な学校 |
|---------|----------------------------------|--------|---|

尾道市立美木中学校

| 評価計画 | | | | 自己評価 | | | | | 学校関係者評価 | | | 改善計画 | | |
|---|--|--|--|---------------------------|-------|-------|-----|----|------------|--------|---|------|--------|-------|
| b 中期経営目標 | c 短期経営目標 | d 目標達成のための方策 | e 評価指標 | f 目標値 | 7月 | 1月 | h | i | j 結果と課題の説明 | k 二次評価 | | | l コメント | m 改善案 |
| | | | | | g 達成値 | g 達成値 | 達成度 | 評価 | | イ | ロ | ハ | | |
| 確かな学力の育成 コンピテンシー（資質・能力）の育成（基礎・基本の定着と思考力・表現力・意欲の育成） | ・学力向上に向けて、校区内小中学校の連携を深化する。 | ・「資質・能力」の系統表について小中で吟味・検討を繰り返し、9年間で付けたい力を整理する。 | ・全ての教科で学習指導案に付けたい資質・能力と単元における思考の流れを明記する。 | 100% | | | | | | | | | | |
| | ・集団づくり・授業改善・環境整備により学力向上を図る。 | ・個別の指導計画を作成、指導に生かし、生徒の変容を丁寧にみとる。 | ・単元テストを実施し、定着を図る。 | 100% | | | | | | | | | | |
| | ・広島版「学びの変革」アクション・プランに基づき、主体的な学び・深い学びを創造する。 | ・課題発見・解決学習の視点で、すべての教科で取り組む。 | ・生徒アンケート ①「課題に対して、自分の考えを書くことができる」 ②「主体的な学習をしている」 | 肯定的評価 85%以上 | | | | | | | | | | |
| 豊かな心の育成 自主性・主体性・社会性、自己肯定感の育成 | ・社会で通用する、時と場に応じた所作の育成を図る。 | ・自ら進んで気持ちのよいあいさつができるように指導する。また、学校並びに社会のルールを遵守するよう指導する。 | ・生徒、教職員のアンケート ①「進んで気持ちのよいあいさつをしている」 ②「学校や社会のルールを守っている」 | 肯定的評価 ①95%以上 ②95%以上 | | | | | | | | | | |
| | ・自主的・主体的な活動を通して、自己肯定感を高め、向上心の育成を図る。 | ・リーダーを育て、各行事を生徒主体で取り組ませる。 ・生徒の望ましい行動を評価し、短学活・集会・各たより等で生徒に伝えていく。 | ・生徒アンケート ①「自分の良いところと言える」 ②「自分の良さが周りの人たちに認められていると思う」 | 肯定的評価 ①と②の平均 65%以上 | | | | | | | | | | |
| 業務改善 働き方改革 | ・業務改善により生徒と向き合う時間を創出するとともに、教職員の健康増進を図る。 | ・定めた部活動休養日を確実に実施する。 ・時間外勤務が減少するように、意識改革と早期退庁に努める。 | ・部活動を週休2日とする。 ・水曜日は5時半に閉校する。 | 100% | | | | | | | | | | |

【自己評価 評価】
A：100≦（目標達成）
C：60≦（もう少し）<80

B：80≦（ほぼ達成）<100
D：（できていない）<60

【外部評価】 イ：自己評価は適正である。ロ：自己評価は適正でない。 ハ：わからない。